

平成 18 年度県民モニター第 3 回アンケート調査結果の活用状況等について
テーマ：芸術文化センター及び陶芸美術館の活用について

開館 1 年を経た両施設の利用状況等について

「行ったことがある」とした回答者（各々、約 2 割）のうち、芸術文化センターで 8 割超、陶芸美術館で 7 割超が、鑑賞内容に「満足」と回答しており、「音響・照明効果」や「ホールの雰囲気」「上演内容」または「陶芸作品」や「展示方法」などに満足したとの意見からも、ニーズに合った事業が展開されたことがうかがえる。

芸術文化センターでは、芸術監督を中心とする自主企画制作公演を実施するとともに、世界一流のオペラやオーケストラをはじめ、バレエ、演劇、ミュージカルなど質の高い様々な舞台芸術を招聘・提供するなど、良質で親しみやすい多彩なメニューを数多く準備しており、今後も幅広いニーズに合った事業展開に努めます。

兵庫陶芸美術館では、開館以来、新しい様々な切り口で「陶芸の世界」を紹介してきました。今後とも、来館者アンケート等による貴重な意見を参考にしながら、国内外の「古陶磁器」から「現代陶芸」まで、優れた陶芸作品の魅力を、当館ならではの「メッセージ」とともに、発信していきます。

「行ったことがない」とした回答者のうち、芸術文化センターで 4 割超、陶芸美術館で約 5 割が、施設を「知らなかった」ことをその理由に挙げており、もっと広報・PRが必要との意見が多いことから、引き続き、きめ細かい広報活動に取り組む必要がある。

芸術文化センターでは、新聞告知、放送局等との共催、情報誌の発行（2 万部：年 2 回）、会員（約 6 万人）への「先行予約会員 NEWS」の送付、ホームページでの案内など、センターの PR に努めていますが、今後さらにきめ細かい広報活動を展開します。

兵庫陶芸美術館では、テレビなどのマスメディアへ積極的に働きかけるとともに、マスコミ各社・旅行社、顧客対象が集積する JR 大阪駅に看板を掲げ、陶芸美術館の露出度をアップさせます。また、主要交差点・最寄駅・公共交通機関等の交通アクセスや駐車場及び神戸・大阪中心部から 1 時間半ほどで来館できることの周知に努めます。

芸術文化センターについて

回答者の約 4 割が「様々なジャンルの公演を行うべき」としており、多様なジャンルで実施している自主事業の方向性は適切であると考えます。また、「わくわくオーケストラ教室」については、回答者の 8 割超が有意義な事業であるとしている。

質の高い公演から幅広い年齢層に受け入れられるような様々なジャンルの公演を実施しており、今後も継続して実施します。

「わくわくオーケストラ教室」は、県内の中学 1 年生全員を対象に、本格的な劇場で生のオーケストラの演奏に親しむ機会を設け、音楽を愛好する心情を育て、豊かな感性を育むことを目的に学校教育の一環として実施しており、今後も、学校の負担軽減を図るため、バスの利用補助を行ったり、曲目や演出等プログラムを工夫しながら引き続き実施します。

陶芸美術館について

回答者の6割が初心者向けのワークショップを望んでおり、潜在的な作陶需要がうかがえる。さらに、丹波の観光施設とのタイアップやバスツアーなどが集客に効果的との回答が多く、こうした企画を今後とも検討する必要がある。

近隣の「陶の郷」「窯元群」における一日陶芸教室等との機能分担や事業連携を図りながら、当館ならではの「窯元や著名作家を講師とする」「中長期の」「技術専門的な」「子育て世代や陶芸経験者などに特化した、また、学校教育と連携した」体験型の企画を実施しており、今後とも、より多くの方に参加いただける機会の創出、周知を図ります。

陶芸美術館学芸員が同行し、県内外の陶芸関係施設などを巡り、陶芸の地ならではの魅力を楽しむツアーを実施しました。また、旅行会社に働きかけを行い、当館をコースに組み込んだ観光ツアーが企画されています。今後とも、より多くの方に訪れていただけるよう、陶芸を身近に感じることができる企画に努めます。